



利府中学校で学ぶ意味とは何か？

校長 熊谷 正広
～ 始業式 式辞より抜粋 ～

風の柔らかさや暖かさが、今、スタートを迎えている私たちの背中をそっと押してくれるような季節を迎えました。浮き立つような春のまっただ中を実感する今日この頃です。

さて、今日から令和6年度の学校生活が始まります。それぞれ学年が1つ上がった今、修了式で話した、一段階上がった具体目標を考えてみてはいかがでしょうか。考えた人もこれからという人も、何かに向かっていこうという前向きな今日の気持ちを大切にこの1年間を過ごしてほしいと思います。

3年生はいよいよ利府中学校のリーダー。卒業した先輩方の背中を追うことから、更に歩みを進めて、新しい発想で、最後の1年に取り組んでほしいと思います。

2年生は、今日の午後、入学してくる1年生の良き先輩として、思いやりを大切に2年生としての1年を過ごしてください。

さて、学期の始まりに際して、皆さんに考えてほしいことがあります。それは「利府中学校」で学んでいることの意味、ということです。

私たちは、なぜ、「利府中学校」に通っているのでしょうか？皆さんが「利府中学校」で学んでいる、学校生活を送っているということは偶然なのでしょうか、それとも何かの運命なのでしょうか？それらの答えを出すのは難しいことです。いろいろな考え方があるので、すっかりした答えは出ないのかもしれませんが、言えることは、現実として皆さんがこの「利府中学校」にいるという事実です。言い換えれば「利府中学校」で出会ったという事実です。

皆さんは一人一人違った個性を持ち、違った考え方をして毎日を過ごしています。一人一人の生き方や考え方が尊重されるべきことは当然のことですが、せっかく「利府中学校」という同じ場で出会い、学んだり暮らしたりするのだから、同じ方向を目指していくことができると、より楽しいのではないかと、思うのです。

その拠り所が、これまで1年間お話ししてきた、3つの「合い言葉」、つまり「進取」「敬愛」「創造」という言葉です。

いろいろなことに失敗を恐れず、自分から進んで挑戦することを目指す「進取」

周囲の人たちと、足りない部分を補い合ったり、高め合ったりすること、そしてお互いの個性を認め合うことを目指す「敬愛」

これまでの発想にこだわらず新しいものの考え方をしていくことを目指す「創造」

この3つの合い言葉について具体的にどんな行動を取っていったら良いのか、自分は実際にどうしていくのかを考えることこそ「利府中学校」で学ぶ意味を考えることなのです。そして考えたことを実行することこそ、「利府中学校」に対して、あるいは「利府中学校」で学ぶ自分に対して誇りや自信を持つことにつながるのです。

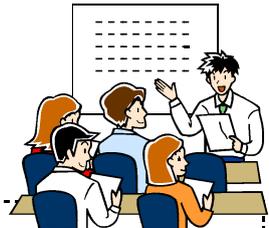
今年度も、この「進取」「敬愛」「創造」という言葉を胸に、新しい出会いとこれまでの出会いを大切に明るく頑張っていきましょう。

最後になりますが、今日感じている、1つ学年が上がったという新鮮で前向きな気持ちを忘れることなく、今年1年、生き生きと物事に取り組むことを期待しています。

P T A 総会について = 4月13日(土)開催 =

4月13日(土)授業参観の後に、今年度のPTA総会が行われます。本日、以下の資料を配付しましたので、ご確認ください。

- | | |
|------------------|--------------------------|
| ① P T A 総会資料について | ② 安全互助事業のご案内 |
| ③ P T A 総会資料 | ④ こども24時間総合保障制度ご案内(封筒入り) |
- ※③は兄弟がいる場合、上の学年のお子さんに配付しています



今年度は、PTA会則の改正(学年選出への変更、会費の減額等)が議案となる予定です。当日までに内容をご覧いただき、総会当日も資料をご持参ください。

また、封筒に入った「こども24時間総合保障制度」は、宮城県PTA連合会からの案内です。任意の保険となります。加入するかどうかは、各ご家庭でご判断ください。強制するものではありません。なお、加入締切は4月17日(水)と、お知らせが届いております。

